

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

第24回

日経STOCKリーグ

株式投資を通じて社会をまなぼう！

金融の学びで未来を拓け！

大会Report

日経STOCKリーグは経済や株式投資について学びながら、興味関心をもとに投資テーマやポートフォリオを構築、コンテスト形式の金融・経済教育プログラムだ。このほど、最優秀賞を含む全6賞の表彰式を開催。これから社会課題の解決に挑む学生たちへ、審査委員からエールが送られた。



最優秀賞

Mie×セミコ ～半導体革命を起こせ～
三重県立四日市高等学校 2年



部門優秀賞 中学部門
地域と未来に未利用魚を
筑波大学附属駒場中学校 3年



部門優秀賞 高校部門
シン・エネルギー革命～ゼロからイチを生み出せ～
青森県立青森高等学校 1・2年



部門優秀賞 大学・専門学校部門
食ロスですっ!
早稲田大学 商学部 奥村雅史ゼミ 3年

■敢闘賞

松本秀峰中等教育学校 3年「Meat the Future MEATING～代替肉で世界を救う～」/市立札幌開成中等教育学校 3年「miraiを刻むチップ～DISCで構築する半導体産業への投資戦略～」/渋谷教育学園渋谷高等学校 2年「Reunion with Companion～「シェア」と「ケア」でつながり直す～」/愛媛県立松山南高等学校 2年「Green!～森林の可能性～」/大阪公立大学 商学部 宮川壽夫ゼミ 3年「新しい株式市場のリーダーズ～ビジョンで描く資金と成長～」/同志社大学 経済学部 新聞三希代ゼミ 3年「Sustainable Water Society」/立教大学 経済学部 石田悠平ゼミ 2年「GOOD BLACK COMPANY」

■アイデア賞

市立札幌開成中等教育学校 3年「必要なとき、必要なものを、必要なひとに～医療物資不足と物流2024年問題～」/立教池袋高等学校 2年「白髪青春～アクティブシニアライフ 高齢化社会対策之書～」/横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 2年「空家未来」/立教大学 経済学部 石田悠平ゼミ 2年「OPTIMIZE SOCIAL & ECONOMIC BENEFITS」

■ルーキー賞

神戸市立本多間中学校 3年「オタクは世界を救う!!」/長野県屋代高等学校 2年「シェアサイクルが創る新しい経済循環」/鹿児島県立短期大学 商経学科 若上敏秀ゼミ 2年「かごしま茶を世界へ」

■審査委員特別賞

筑波大学附属駒場中学校 3年「エネルギーに海から風を～洋上風力発電と漁業の共生～」/洗足学園中学校 3年「NFT×BC=∞」/横浜女学院高等学校 2年「Femtech～性別を超え、輝く未来を切り拓け～」/東京大学 経済学部 首藤昭信ゼミ 3・4年「PBRユニコーン」/産業能率大学 経営学部 倉田洋ゼミ 2・3年「愛着の世襲」/一橋大学 商学部 加賀谷哲之ゼミ 3年「物流の将来像～「2024年問題」から大変革に向けて～」

■NOMURA Award(特別賞)

これまで日経STOCKリーグを通して、金融・経済教育の普及にご尽力いただいた指導教諭・教員の方々に表彰します。

- 【中学】市立札幌開成中等教育学校 松澤剛 教諭
名古屋大学教育学部附属中・高等学校 岡田久文 教諭
- 【高校】秋田県立小坂高等学校 本炭京子 教諭
久留米市立久留米商業高等学校 牛島規夫 主幹教諭
- 【大学】大阪公立大学 中川満 准教授
金沢大学 寒河江雅彦 教授

課題解決の取り組み、将来の糧に

野村ホールディングス
コンテンツ・カンパニー長
サステナビリティ
兼 金融経済教育担当
鳥海 智絵氏



野村グループは次世代を担う若者の投資についての正しい理解を促す目的から、日経STOCKリーグの特別協賛を第1回大会から続けており、今回も約140人の役職員がボランティア審査を務めている。学生の柔軟な発想や着眼点には驚かばかりで、金融に携わる我々にとっても学びが多い。熱意を持って指導された教員の皆様にも改めてお礼を申し上げます。

自ら課題を設定し、チームで試行錯誤しながらレポートをまとめる過程は、昨今、重要度が増す探究的な学習にも通じる。大会で得た社会課題の解決に向けた疑似体験は、必ず将来の糧になるはずだ。金融経済への理解が深まり、個人の資産運用が活発化すれば、日本経済はもとより、人や社会の豊かさにもつながると考える。野村グループでも引き続き、幅広い世代に対する金融経済教育の普及に励みたい。

参加者は歴代最多に

日本経済新聞社主催、中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト「日経STOCKリーグ」の第24回表彰式が2024年3月16日、都内会場とオンラインのハイブリッド形式で開催された。第24回大会は大会史上最多となる2118チーム、8445名が参加。会場には賞に選ばれた学生と関係者の総勢約1500名が集まり、功績を讃えた。さらに、内閣府大臣政務官や日本経済新聞社

社会を見る目養い、世界と競争

最優秀賞に選ばれたのは三重県立四日市高等学校のチーム。「Mie×セミコ」半導体革命を起こせ」と題したレポートでは、投資を通じて三重県の半導体産業を世界に羽ばたかせることを最終目標に設定。半導体市場の高い需要や将来性だけでなく、それに伴う日本政府の動きや、国内半導体産業を牽引する三重県を取り組みにも言及している。とくに丁寧にも何度も重ねたフィードバックが評価された。投資では地元企業や県庁へのヒアリングで得た知見を生かし多角的なスクリーニングを行った。その中で「合理的な方法も大切だと思ったが、その企業を応援したいという気持ちも大切だ」と、特別枠も選定した。同チームは「半導体について時間をかけて調査したことで経済への影響だけでなく、自分の将来につながる知識も得られた」と結果を振り返るとともに、協力に応じた企業や関係者への謝辞を述べた。



最優秀賞の三重県立四日市高等学校によるプレゼンテーション



全体記念写真

地元企業の魅力を再認識

最優秀賞に選ばれたのは三重県立四日市高等学校のチーム。「Mie×セミコ」半導体革命を起こせ」と題したレポートでは、投資を通じて三重県の半導体産業を世界に羽ばたかせることを最終目標に設定。半導体市場の高い需要や将来性だけでなく、それに伴う日本政府の動きや、国内半導体産業を牽引する三重県を取り組みにも言及している。とくに丁寧にも何度も重ねたフィードバックが評価された。投資では地元企業や県庁へのヒアリングで得た知見を生かし多角的なスクリーニングを行った。その中で「合理的な方法も大切だと思ったが、その企業を応援したいという気持ちも大切だ」と、特別枠も選定した。同チームは「半導体について時間をかけて調査したことで経済への影響だけでなく、自分の将来につながる知識も得られた」と結果を振り返るとともに、協力に応じた企業や関係者への謝辞を述べた。

特別協賛

NOMURA

主催：日本経済新聞社
後援：文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会、全国高等学校長協会

「日経STOCKリーグ」事務局 受賞レポートなど詳細は、経済学習サイトman@bow(まなぼう)で公開中!
Tel:03-3545-9823 [10:00~18:00 ※土日祝日を除く]

<https://manabow.com/> まなぼう

